

平成24年11月6日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 2件
(うち半密閉式(CF式)ガスふろがま(LPガス用)2件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 6件
(うち電気冷蔵庫1件、電気冷凍庫1件、電気洗濯機1件、照明器具1件、
プラズマテレビ1件、充電器(電気シェーバー用)1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 5件
(うち電気洗濯機1件、電気冷蔵庫1件、除湿機1件、扇風機1件、
エアコン1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) シャープ株式会社が生産した電気冷蔵庫について（管理番号A201200567）

①事象について

シャープ株式会社が生産した電気冷蔵庫を使用中、異臭と発煙に気付き確認すると、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のコンプレッサー始動用に使われている始動リレー（起動用電気部品）内のPTC素子（電流を制御する部品）の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損して製品の内部部品を焼損する火災に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、本年4月16日にプレスリリース、同4月17日に新聞社告を行うとともに、ホームページに情報を掲載し、また、販売店を通じて使用者にダイレクトメール等で呼び掛け、対象製品について無償点検・部品交換を実施しています。

③対象製品等：製品名、機種型式、対象製造番号、製造期間、改修対象台数

製品名	機種型式	対象製造番号	製造期間	改修対象台数
シャープ ブランド	SJ-350JB(-H)	全ての製造番号	平成8年12月 ～ 平成13年3月	15,600台
	SJ-E35KC(-H)			26,300台
	SJ-EX357(-H)			20,300台
	SJ-EX447(-H)			29,700台
	SJ-V35WB(-H)			3,400台
	SJ-V35WC(-H)			4,500台
	SJ-W358D(-G/-H)			6,500台
	SJ-W359D(-C/-H)			10,200台
	SJ-W35A(-G/-H)			73,380台
	SJ-W35B(-G/-H)			74,920台
	SJ-WA35C(-C/-H)			130,672台
	SJ-WE38A(-G/-H)			68,245台
	SJ-WE44A(-G/-H)			54,300台
	SJ-WH350(-C)			8,400台
	SJ-WH380(-C)			7,900台
	SJ-WJ440(-H)			4,400台
	SJ-WS350(-H)			1,700台
	電気 冷蔵 庫			SJ-E30B(-W)
SJ-E30B(-C)		20010001～20059210		80,600台
SJ-E30B(-H)		30010001～30031480		
SJ-23B(-H)				48,780台

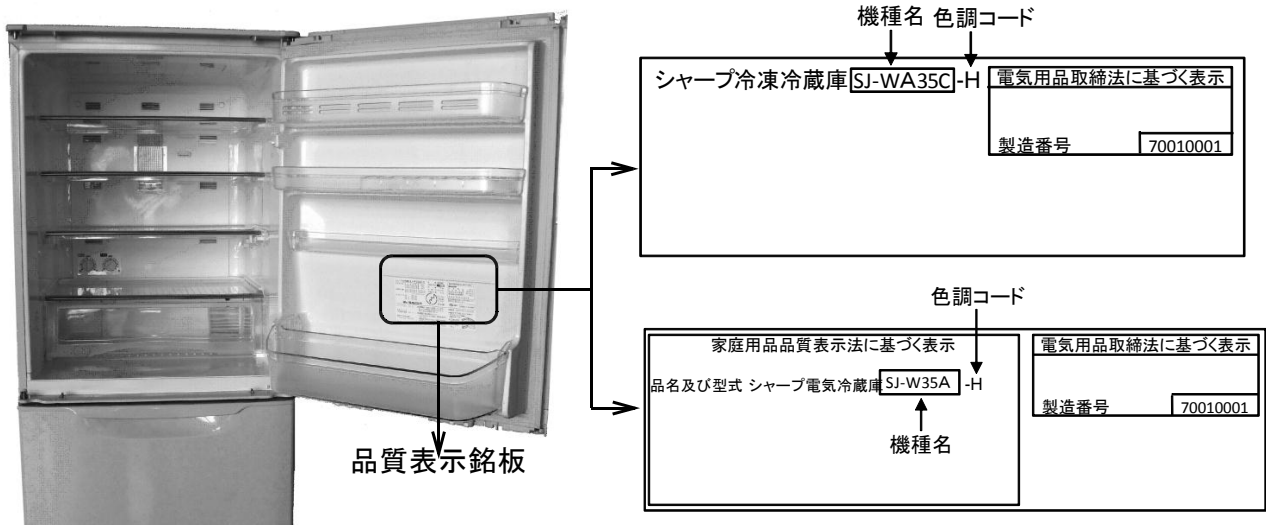
		SJ-23D(-C/-R)	全ての製造番号	60,373台
		SJ-S407(-H)		5,500台
無印良品 ブランド		SJ-R35C		1,510台
合 計				737,180台

※ 表中()内は色調コードです。

改修率 18.5% (平成24年9月30日現在)

対象製品の外観及び確認方法

写真例 SJ-WA35C-H



注) 冷蔵庫ドア内側に、右図様式のいずれかの品質表示銘板が貼付されています。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(シャープ株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-404-511

受付時間：9時～18時(月～土曜日)

9時～17時(日曜・祝日)

ホームページ：http://www.sharp.co.jp/support/announce/sj_info_120416.html

(2) 株式会社泉精器製作所が輸入した充電器(電気シェーバー用)(セイコーエスヤード株式会社ブランド)について(管理番号A201200577)

①事象について

株式会社泉精器製作所が輸入した充電器(電気シェーバー用)(セイコーエスヤード株式会社ブランド)及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品内部の発振トランスの巻線で絶縁不良をおこし、短絡して過電流が流れることにより過熱し、出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

セイコーエスヤード株式会社（現 セイコースポーツライフ株式会社）は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、平成12年6月6日以降、複数回に渡って新聞社告を掲載するとともに、地方自治体や消防機関が発行している広報誌への情報掲載、電気シェーバー替え刃へチラシを同梱しての呼び掛け等により消費者に対して注意喚起を行い、当該製品の回収（無償交換）を実施しています。

③対象製品等：機種名、製造記号、製造年月

機種名	製造記号	製造年月
ES1910	9D	1999年12月
ES1815用充電器 RC01	01	2000年 1月
ES1810	02	2000年 2月
	03	2000年 3月
ES1395用充電器 RC41	04	2000年 4月

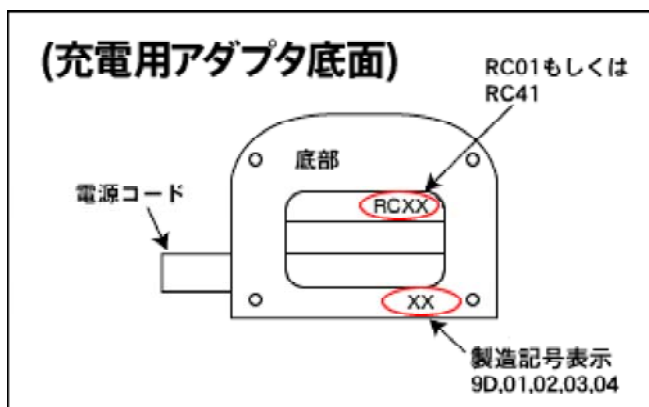
回収対象台数 133, 323台

回収率 88.8%（平成24年9月30日現在）

対象製品の外観



対象製品の確認方法：充電器の機種名及び製造記号は、充電器の底面に記載されています。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(セイコースポーツライフ株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-120-643

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を含む。）

ホームページ：<http://www.seiko-sl.co.jp/information.html>

(本発表資料の問合せ先)

消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当)

担当：大木、長井、川船^{かわふね}

電話：03-3507-9204（直通）

FAX：03-3507-9290

(シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫についての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社泉精器製作所が輸入した充電器（電気シェーバー用）（セイコーエスヤード株式会社ブランド）についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、古田、長沼 電話：03-3501-1707（直通）

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200566	平成24年10月20日	平成24年11月1日	半密閉式(CF式) ガスふろがま(LPガス用)	ML-SB101K	モリタ工業株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。浴槽へ水を入れずに点火、空焚きとなった状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	11月1日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200576	平成24年10月23日	平成24年11月2日	半密閉式(CF式) ガスふろがま(LPガス用)	TP-A21BS	高木産業株式会社 (現 パーパス株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	青森県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200567	平成24年10月20日	平成24年11月1日	電気冷蔵庫	SJ-WA35C	シャープ株式会社	火災	当該製品を使用中、異臭と発煙に気付き確認すると、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー(起動用電気部品)内のPTC素子(電流を制御する部品)の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損して製品の内部部品を焼損する火災に至ったものと考えられる。	東京都	4月16日からリコールを実施 (特記事項を参照) 改修率 18.5%
A201200569	平成24年10月19日	平成24年11月2日	電気冷凍庫	MD-850FF	三ツ星貿易株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201200570	平成24年10月23日	平成24年11月2日	電気洗濯機	KWM-45W	大宇電子ジャパン株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	千葉県	
A201200572	平成24年10月21日	平成24年11月2日	照明器具	不明	松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	宮城県	製造から30年以上経過した製品

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200575	平成24年10月21日	平成24年11月2日	プラズマテレビ	TH-P55GT5	パナソニック株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、視聴できなくなったため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	東京都	
A201200577	平成24年10月9日	平成24年11月2日	充電器(電気シェーバー用)	RC01(セイコーエスヤード株式会社ブランド)	株式会社泉精器製作所(セイコーエスヤード株式会社ブランド) (輸入事業者)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品内部の発振トランスの巻線で絶縁不良をおこし、短絡して過電流が流れることにより過熱し、出火に至ったものと考えられる。	福岡県	平成12年6月6日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率 88.8%

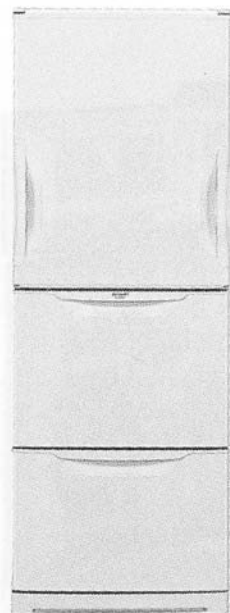
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200568	平成24年7月18日	平成24年11月1日	電気洗濯機	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が事故を認識したのは、10月26日
A201200571	平成24年10月22日	平成24年11月2日	電気冷蔵庫	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	製造から35年以上経過した製品 11月1日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200573	平成24年10月23日	平成24年11月2日	除湿機	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201200574	平成24年9月14日	平成24年11月2日	扇風機	火災	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	石川県	事業者が事故を認識したのは、10月26日
A201200578	平成24年10月24日	平成24年11月2日	エアコン	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

電気冷蔵庫（管理番号：A201200567）



電気冷凍庫（管理番号：A201200569）



電気洗濯機（管理番号：A201200570）



プラズマテレビ（管理番号：A201200575）

